

第 373 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 3 年 7 月 6 日 (火) 11:00~12:55
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix Wiz. (水・木分)
[放送日時] 令和 3 年 6 月 24 日 (木) 11:30~14:55
[出演者] バカボン鬼塚、川崎玲奈
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康 委員 小野晃司
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治

[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役編成制作本部長兼制作部長 杉山啓充
編成事業本部長代理 安田信章
制作本部制作担当部長 寺田和史

5. 事務局報告

- 社長就任挨拶
- 第一四半期売上状況の件
- 40 周年プロジェクトの件

6. 番組審議

[対象番組] K-mix Wiz. (水・木分)
[放送日時] 令和 3 年月日 () 11:30~14:55
[出演者] バカボン鬼塚、川崎玲奈
[番組内容] 抜群のトークと最高の音楽。とにかく楽しい魔法のラジオ。それが K-mix Wiz. !

[聴取・合評での主な意見]

小野委員

重要な時間帯、という認識で拝聴した。鬼塚は夜の人、という印象だったが、昼帯でも上手い。パートナーの良さを引き立て、仕上げ、人気者にしようという上手さがある。とはいえ、教科書的な各コーナーがあまりに冗長で、こちらの忍耐力が持たない。全体ではとても上手なのだが、長く感じるのは何故なのだろうか？

加藤委員

あまり否定する部分が無い位の完成度だ。鬼塚のテクニックが至る所で駆使されている。川崎の若さ故の稚拙さを、上手くサポートしている。

- 服部委員 楽しく聴かせてもらった。全体的にテンポが良く、2人が楽しそうな雰囲気伝わってくる。鬼塚のトーク力、展開力、引き出しの多さ、川崎への気配りが素晴らしい。
- 角田副委員長 安定感・安心感が素晴らしい。質問だが、月火と比較して、メール数やリスナーの年齢層に違いはあるのか？
- 事務局 数はあまり変わらない。年齢層は少し違いが出ている。
- 角田副委員長 承知した。安定安心がある一方、ワクワク感は大幅に減退した印象。ライブ聴取するにはコーナーが長すぎ、知的体力が持たない。スピード感が無い。鬼塚は大御所ではあるが、新規リスナーの掘り起こしという意味では、努力が必要だ。彼のファン以外の方が聴いたら、何が面白いのだろうか？彼の言う事全てが面白い、という前提があって、そこに疑問を差し込めない雰囲気がある。アンタチャブルを作ってはいけない。
- 木宮委員長 全体的には概ね良いが、看板番組になるためには更なる努力が必要、といった評価。月火より水木の方がむしろ落ち着いている印象。川崎も、現状は鬼塚の言う事を全て肯定していて、ピシッと突っ込む立ち位置も必要で、それがメリハリやテンポ感を生むのではないか。何より、お昼の生ワイドとしてのライブ感がさほど感じられない。生放送らしさ・「生感」が無い。例えば、ツイッターでのリアクションを採り上げるなど、ライブリスナーをどうフォローするかが課題だろう。現状、完成度は高いが、ワクワク感がない。
- 会社サイド 前回(第372回)ではスピード感やコンビネーションなどを評価頂いた一方、芦沢のいじりの強さなどについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 令和3年9月7日(火) 11:00~13:00を予定

以上

番組審議会委員長

木宮敬信

